

当院の救急当番日(外科)



12月 … 4, 6, 9, 10, 13, 20, 23, 24(※1), 27
 1月 … 1(※1), 2(※1), 8, 10, 13, 14, 17, 24, 27, 28, 31
 2月 … 5, 7, 10, 11, 14, 21, 24, 25, 28
 ※1 : 9:00~17:00まで内科救急も行います。

健康急便

2023

冬号

(第68号)



院内研究発表会を終えて

… P2

最近の出来事
研修会が行われました

… P3

バトンタッチ
外来診療体制
あとがき

… P4
… P4
… P4

医療法人社団 藤花会
江別谷藤病院
理念

- 一. 私たちは医療を通して、快適な毎日の生活をサポートします。
- 二. プロとして、成長し続けるために努力、勉強に努めます。

院内研究発表会を終えて

臨床検査科 渋谷 亜由美

令和5年11月17日金曜日に第16回目の院内研究発表会が行われました。今年、看護部、リハビリテーション科、臨床検査科から計7演題が発表されました。演題は以下の通りです。

1. 安全な排泄介助への取り組み～見守りマークを用いて～ 3階病棟看護部
2. 自己調節鎮痛法（PCA）導入前後での術後3日目のリハビリレベルの比較 リハビリテーション科
3. スキンケアを予防できる安全・安楽なケア 5階病棟看護部
4. 手術室における地震災害に対する意識調査 外来看護部
5. 病棟看護師の地域包括病床の退院調整の理解度の実態を把握し、退院調整をスムーズに遂行するための具体策を明確化する 4階病棟看護部
6. 心臓超音波検査で左室壁運動異常を認めた場合における心電図検査との関係 臨床検査科
7. 体幹の傾斜角度の違いがY exercise実施中の僧帽筋下部線維に与える影響 リハビリテーション科

今年の発表は、新型コロナウイルス感染対策のため、会場を数か所に分けたリモート形式にて行われました。質疑応答も活発にあり、普段あまり触れることのない他部署の取り組みについて知る事が出来、例年の発表会と同様にとても有意義な時間を過ごす事ができました。

私自身は臨床検査科として、健康診断などでよく検査をする事のある心電図と、より詳しい心臓の検査である心臓超音波検査の関係性について発表しました。以前から気になっていた両検査の整合性について研究したのですが、とても奥が深く心臓だけではなく様々な体の状態が複雑に絡み合っている事が分かりました。今回の研究を通して一つの臓器としてではなく、患者様全体をみる事の大切さを改めて実感しました。また、臨床検査科の中でも沢山意見を出し合い無事発表をむかえられた事に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも患者様のため、自分のためにもスキルアップをし、他部署との連携を深めながらより良い医療を提供していける様に努めていきたいと思っております。



17:15	17:25	17:30
受付開始	オリエンテーション	発表開始
演題1	安全な排泄介助への取り組み～見守りマークを用いて～ 3階病棟/〇佐藤 結花、完全麻酔、中川 聖里	
演題2	自己調節鎮痛法(PCA)導入前後での術後3日目のリハビリレベルの比較 リハビリテーション科/〇桑原 拓、及川 雅美、櫻野 秀穂	
演題3	スキンケアを予防できる安全・安楽なケア 5階病棟/〇中本 彩子、新美 穂子、鈴木 崇平	
演題4	手術室における地震災害に対する意識調査 外来/〇藤田 悠平、松下 遼子、川原 高登、宮下 穂美	
演題5	リハビリテーション科 橋本 尚弘	
演題6	病棟看護師の地域包括病床の退院調整の理解度の実態を把握し、退院調整をスムーズに遂行するための具体策を明確化する 4階病棟/〇松澤 希実、伊藤 有典、水上 真、加藤 遥子	
演題7	心臓超音波検査で左室壁運動異常を認めた場合における心電図検査との関係 臨床検査科/〇渋谷 亜由美、向山 悠実、木村 杏花、山本 みづ	
演題8	体幹の傾斜角度の違いがY exercise実施中の僧帽筋下部線維に与える影響 リハビリテーション科/〇野村 悠希、山本 美穂	



研修会が行われました

広報委員 万年 秀憲

2023年10月20日と27日の金曜日に、職員全員が対象の研修会が行われました。両日とも一つの会場に職員全員が入る事が出来ないため、数か所の会場を準備し、そこをズームで繋ぐ事により、参加者全員同時に研修を受ける事が出来ました。

20日は当院の感染管理認定看護師である池間看護師により「根拠から考えてみる基本的な感染対策」という題で研修が行われました。感染経路別の予防策(接触予防策、飛沫予防策、空気感染予防策)についての話では、新型コロナウイルス感染疑いの患者様に対応する時など、N95マスク、ガウン、手袋、ゴーグルなどの感染予防グッズが、どの経路の感染予防に当てはまるかを、事例などを使いながら詳しく教えていただきました。

その後の手指衛生の話では、病原体の伝播経路から見た手指衛生の重要性、手指衛生の種類と実施するタイミングなどを教えていただきました。

27日は株式会社医療情報サービスの村田信子先生をお招きし、「クレームの予防と初期対応」という題で接遇の研修が行われました。

まずは接遇とはどのようなものかを分かりやすくお話していただいた後に、今までの自分の行動を接遇の基本セルフチェック表を使って振り返ってみたりしました。

その後は、クレームを予防するためにも接遇は重要であるという事を教えていただき「信頼貯金」、「クレーム原因の削減」、「二次クレームの予防」、「待ち時間クレームの予防」等を職員同士のディスカッションなども交えながら分かりやすく教えていただきました。

新型コロナウイルス感染症の流行が始まってから、職員が一同に集まる研修は感染防止のため動画配信などで行われたり、市販のオンラインツールを用いた研修に置き換わっていましたが、新型コロナウイルス5類移行後に行われた今回の研修は、講師の先生から直接講義や意見を聞くことが出来たため、とても記憶にのこり、個人的にはオンラインの研修などより分かりやすく勉強になるなあと改めて思いました。



感染管理認定看護師 池間看護師



株式会社医療情報サービス 村田信子先生

バトンタッチ

看護師 東 みらい

4月から看護師1年目として入職いたしました東みらいです。3か月ごとに3階病棟、4階病棟、5階病棟と回らせていただき徐々に技術や知識を身につけることができているのではないかと感じております。ご指導して下さっている方々に感謝申し上げます。

私の日々のモチベーションとなっていることは好きなバンドのライブに行くことですが、コロナ禍の影響により数年間ライブが規制され、もどかしい日々が続きました。今年5月に新型コロナウイルスが5類感染症に位置付けられて以降、規制が緩和されライブに足を運ぶ回数が増えてきました。同じ会場でアーティストとファンが一体となり、日々のストレスを発散しつつ盛り上がることのできるライブは、オンラインやDVDといった映像からは得られない感動があるものです。

一時期に比べるとコロナ感染者は減少してきましたが、今度はインフルエンザが流行しておりまだまだ気を抜けない状態が続いています。感染症対策を怠ることなくいつかはマスクをつけずとも堂々と外を歩くことのできる日が来るといいですね。



次回は同じく4月から看護師となった岩崎美玖さんへバトンタッチです。

江別谷藤病院 外来診療体制

診療科	時間	月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	谷藤 高橋	谷藤 大本	大本	谷藤	谷藤	谷藤
	午後	大本	高橋	高橋		高橋	
内科	午前	渡部	服部	渡部 大川原	服部	服部	出張医
	午後	服部	渡部	出張医	出張医	渡部	
消化器科	午前 午後			大川原			
呼吸器内科	午前 午後	渡部	渡部	渡部		渡部	
脳神経外科 リハビリ科	午前	黒川	黒川	黒川	野崎		黒川※1
	午後		野崎	野崎		黒川	
もの忘れ外来	午前 午後					野崎※2	
リウマチ 専門外来	午前	服部					
	午後				服部		
循環器科	午前 午後		出張医				
皮膚科	午前						佐藤
	午後						佐藤※3

※1：第2、第4週のみ診療を行っております。事前にお問い合わせ下さい。

※2：「もの忘れ外来」は予約が必要です。病院受付、もしくは相談室までお問い合わせ下さい。（第2金曜日を除く）

※3：第2、第4週のみ診療を行っております。

医師の不在日等はお電話（011-382-5111）にてお問い合わせ下さい。

～あしがき～

広報委員 西村 裕子

広報誌「健康急便」をご覧いただき、ありがとうございます。
今年の夏は北海道も猛暑が続く(温暖化の影響でしょうか?)、秋はあっという間に過ぎ、冬の到来(やっぱり来たのね...)。気付けば令和5年も残りわずかとなりました。急な気温の変化で、皆様体調は崩していないでしょうか?
新型コロナウイルスも5類となり制限も緩和されましたが、感染者もまだまだ出ており、更にはインフルエンザも例年より早く流行しています。手洗い、うがい、マスク着用などの感染対策と、体調管理をしっかりして新年を迎えましょう。
来年もよろしくお祈りします。

<発行元>

医療法人社団
藤花会 江別谷藤病院
広報委員会

北海道江別市
幸町22番地
TEL. 011(382)5111